# 外部評価チェックシート（行政評価手法への意見）

| 意見 |
| --- |
| **◆評価基準の明確化・統一化について【第1部会】**<br>実行計画は、区民に対する区政運営の指針であり、区が区民に示した約束である。そのため、事業の進捗については、計画に対して予定どおり進んでいるのか、あるいは遅れが生じているのかという観点から評価されるべきであり、本評価においても同様の考え方に基づいて行うものと認識している。<br>外的要因によるスケジュールの変更であったとしても、計画上、当初の予定からの遅延であることに変わりはない。内部評価の実施に当たっては、**「実行計画で示した計画に対して、どのような進捗状況にあるのか」**という基準に統一していただきたい。 |
| **◆事業特性を踏まえた目標設定について【第1部会】**<br>評価対象事業には、区が主体的に実施できる事業と、土地・建物所有者の協力や合意形成、さらには国や東京都の方針等の影響を受ける事業が含まれており、これらが混在した形で目標値が設定されているものと認識している。<br>今後は、①**区が主体的に推進できる取組に関する目標**と、②**土地・建物所有者の協力や国・東京都の方針など、外的要因の影響を受ける取組に関する目標**とを区分して設定することも検討されたい。このような整理を行うことで、区民にとって事業の進捗状況がより分かりやすくなるとともに、区職員にとっても、取組の成果が適切に評価されることにつながると考える。 |
| **◆評価対象事業関連資料へのアクセス性向上について【第2部会】**<br>電子化されている資料については、区ホームページのどのページやカテゴリーで閲覧できるのかを、事務局の方であらかじめ一覧化して共有していただくのはどうだろうか。すべての資料を紙で配布すると相当な分量になるため、関連資料の掲載先を案内する形も有効と考える。 |
| **◆「評価対象選定の考え方」について【第3部会】**<br>「評価対象選定の考え方」ではオーバーツーリズム対策が掲げられているものの、評価対象事業における関連する取組の記載が少なく、具体的な実施状況や成果が把握しづらかった。評価対象選定の趣旨と事業内容との関係がより分かりやすくなるよう、記載内容の充実を図るべきである。 |
| **◆内部評価シートについて【第3部会】**<br>事業ごとの経費内訳や予算配分をより分かりやすく示すことで、事業の効果や費用対効果、事業規模の妥当性について区民が適切に把握できるよう工夫されたい。 |